

インマヌエル中目黒キリスト教会
2011年2月20日
聖日礼拝

ネヘミヤ記連講3

「天の神に祈ってから」

ネヘミヤ記2章1-10節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネヘミヤ記2章1-10節

1 アルタシャスタ王の第二十年の
ニサンの月に、
王の前に酒が出たとき、
私は酒を取り上げ、
それを王に差し上げた。
これまで、
私は王の前でしおれたことは
なかった。

2 そのとき、王は私に言った。

「あなたは

病気でもなさそうなのに、

なぜ、

そのように悲しい顔つきを
しているのか。

きっと心に悲しみがあるに
違いない。」

私はひどく恐れて、

3 王に言った。

「王よ。

いつまでも生きられますように。

私の先祖の墓のある町が

廃墟となり、

その門が火で焼き尽くされて

いるというのに、

どうして悲しい顔をしないで

おられましょうか。」

4 すると、王は私に言った。
「では、
あなたは何を願うのか。」
そこで私は、
天の神に祈ってから、

5 王に答えた。

「王さま。

もしもよろしくて、

このしもべを

いれてくださいますなら、

私をユダの地、

私の先祖の墓のある町へ送って、

それを再建させてください。」

6 王は私に言った。

——王妃もそばにすわっていた——

「旅はどのくらいかかるのか。

いつ戻って来るのか。」

私が王にその期間を申し出ると、

王は快く私を送り出してくれた。

7 それで、私は王に言った。

「もしも、王さまがよろしければ、
川向こうの総督たちへの手紙を
私に賜り、
私がユダに着くまで、
彼らが私を通らせるように
してください。

8 また、王に属する御園の番人
アサフへの手紙も賜り、
宮の城門の梁を置くため、
また、あの町の城壁と、
私が入る家のために、
彼が材木を私に与えるように
してください。」
私の神の恵みの御手が
私の上にあったので、
王はそれをかなえてくれた。

9 私は、
川向こうの総督たちのところに行き、
王の手紙を彼らに手渡した。
それに、
王は将校たちと騎兵を
私につけてくれた。

10 ホロン人サヌバラテと、
アモン人で役人のトビヤは、
これを聞いて、
非常に不きげんになった。
イスラエル人の利益を求める人
がやって来たからである。

説教

ネヘミヤ記連講3

「この人の前に、あわれみを」

ネヘミヤ記1章1節-11節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「王は私に言った。

『では、

あなたは何を願うのか。』

そこで私は、

天の神に祈ってから、

王に答えた。」

(ネヘミヤ2：4－5)

A. 摂理の不思議

1. 予期しない事態（1－3節）

- ・ 王への接近：BC 444年4月

- ・ 思わぬピンチ：

「青い顔の給仕役」

- ・ ネヘミヤの告白：

ありのまま正直に

2. 予期しない好意（4－6節）

- 王の好意：
「なにが欲しいのか？」
- まず祈って：
思慮深い答えが可能となった
- 更なる王の好意：
「休暇は許可する。
その期間は？」

3. 期待以上の答え

(7-10節)

- 具体的リクエスト：
 - ①通行許可証；
 - ②材木調達依頼状
- 神の恵みの手：
 - ①と②はOK+
 - ③守護兵の帯同；
 - ④総督として任命

B. 天の神に祈ってから

ネへミヤ記の短禱＝

① 2 : 4、 ② 4 : 4－5、

③ 4 : 9、 ④ 5 : 19、

⑤ 6 : 9、 ⑥ 6 : 14、

⑦ 1 3 : 2 2、 ⑧ 1 3 : 2 9

1. まず祈る
2. 発言の前に一呼吸
3. 要点を捉えるように
4. 神の恵みが働くように
5. 祈りの生活が背景

おわりに

- 短禱を実行しよう
- 短禱の基礎となる祈りの生活を